

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 柴崎地区産業用地整備事業

基本施策名： 4-1 企業立地の推進

担当部課名： 環境経済部企業立地推進課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	120	0	0	0	0	120
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	87	0	0	0	0	87

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

令和5年度は、国等を含めた関係機関及び市内進出希望事業者との協議を進め、大日本土木・マーケットトラスト共同企業体の土地利用計画の策定を支援するとともに、土地利用計画に基づき同企業体が進める地権者との用地交渉の進捗状況等を確認していきます。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

国県などの関係機関との協議について、順調に進めることができ、地権者にも概ね理解をいただけたことで、土地利用計画図を作成することができました。

しかしながら、設計を進めていく中で、ボーリング調査により盛土層が発覚しました。

今後は、盛土層への対応について、市内進出希望企業及び共同企業体の意向を踏まえ、協議を進めていくことが必要となっています。

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： チャレンジドオフィスあびこの実施基本施策名： 4-2 就労支援の充実担当部課名： 健康福祉部障害者福祉センター

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	201	0	0	0	0	201
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	135	0	0	0	0	135

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

4月より障害者就労支援センターにて、チャレンジドオフィスあびこを開設します。一般企業等で働く意欲があるものの、就労に結びつかない障害者を対象として一定期間（最長3年間）市の会計年度任用職員として採用し、社会人としての行動を習得し、その職務経験を生かすことで一般就労に結び付けていくことを目的とします。令和5年度は3名を採用し、庁内各課の事務補助等を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

障害者の一般就労に向けての雇用を促進するため、令和5年4月よりチャレンジドオフィスあびこを開設し、障害者3名、就労支援員2名を雇用して庁内の事務補助作業を行いました。

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 公園坂通りへの出店支援

基本施策名： 4-3 商工業の振興

担当部課名： 環境経済部企業立地推進課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	49,129	0	0	0	3,120	46,009
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	49,112	0	0	0	3,120	45,992

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

令和5年5月16日にオープン予定の複合型飲食店「アビソンシュガーガーデン」の開店を支援するとともに、公園坂通り周辺の賑わい創出を図ります。

開店後は、引き続き、我孫子市公園坂通り施設活用事業者選考委員会において、事業の適合性について調査・審議を行うとともに、本事業による周辺の活性化を図るため、必要となる助言等を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

アビソンシュガーガーデン事業者からの報告によると、令和6年3月末までに延べ約4万7千人の来客があったとのこと。季節に合わせた商品の開発やイベント開催などの効果により、常連客やリピーターも増え、市外からも多くの方に来店いただいているとのこと。

なお、令和6年1月30日に我孫子市公園坂通り施設活用事業者選考委員会を開催し、事業の進捗状況の確認及び事業の適合性について調査しました。各委員からは、今後の運営に生かせるような様々なアドバイスをいただきました。

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名：手賀沼・手賀川の活用

基本施策名：4-5 交流・関係人口の拡大

担当部課名：企画総務部企画政策課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	0	0	0	0	0	0
補正後予算額	0	0	0	0	0	0
決算額	0	0	0	0	0	0

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

手賀沼・手賀川活用推進協議会において平成29年度に策定したアクションプランに基づき、構成団体間で手賀沼・手賀川に関する情報共有、広域連携事業の調整や関係団体との意見交換を行います。

4月に幹事会、5月に総会を開催、その他随時関係課会議等を開催します。

千葉県を主体とした地域づくり推進事業についてのワーキンググループを設置し、手賀沼・手賀川周辺におけるにぎわいづくりを推進する事業に取り組みます。

※手賀沼・手賀川活用推進協議構成団体：千葉県東葛飾地域振興事務所・印旛地域振興事務所・柏土木事務所・印旛土木事務所、柏市・印西市・我孫子市（事務局）・国土交通省利根川下流河川事務所（オブザーバー）

3. 進行状況の報告

報告基準日：令和6年4月1日

幹事会を4月28日に我孫子市にて、6月12日に書面にて開催しました。幹事会では協議会（総会）に付す議案について協議したほか、手賀沼・手賀川周辺地域の農を軸としたにぎわいづくりに寄与する民間サービス導入支援検討業務企画提案仕様書について報告しました。協議会（総会）は5月11日に我孫子市にて開催しました。また、手賀沼・手賀川周辺地域のにぎわいづくりに寄与した民間サービス導入支援について、協議会ワーキンググループにて会議を6回、視察を1回実施しました。令和6年3月には、報告書が完成し、報告書の内容に基づき、令和6年度から実証実験を開催することとしました。

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 農産物直売所アンテナショップ跡地活用

基本施策名： 4-5 交流・関係人口の拡大

担当部課名： 環境経済部商業観光課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	370	0	0	0	0	370
補正後予算額	—	—	—	—	—	—
決算額	304	0	0	0	0	304

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

農産物直売所アンテナショップ跡地の活用を図るため、募集要項等について庁内関係各課と調整・協議を行った後、我孫子市農産物直売所アンテナショップ跡地活用事業者選考委員会にて確定します。秋ごろには新たな活用事業者の募集を開始し、審査を経て年度内に活用事業者を決定します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

活用事業者の募集に向けた事業者ヒアリングの中で、既存の手賀沼観光施設誘導方針には示されていない観光振興のための土地利用の可能性が把握されたことや、令和4年から我孫子市第四次総合計画や我孫子市都市計画マスタープランがスタートし、手賀沼周辺の観光振興の重要性を改めて掲げたことから、活用事業者募集に先行して手賀沼観光施設誘導方針の改定を行うこととし、令和6年2月に改定しました。